

2. 都市づくりの将来像

- 2-1 都市づくりの理念
- 2-2 将来都市像

2-1 都市づくりの理念

都市づくりを進める上での根本的な考え方、哲学である「都市づくりの理念」については、町の上位計画でもある『第2期八雲町総合計画』で示す、まちづくりの理念・将来像・基本目標にもとづき定める。

【第2期八雲町総合計画で示すまちづくりの理念】

1. 自然を愛し美しい町をつくろう
2. 助け合うあたたかい町にしよう
3. 活気あふれる町にしよう
4. つねに進歩する町民になろう

【第2期八雲町総合計画で示す将来像】

八雲発！自然と人を未来へつなぐ

【第2期八雲町総合計画で示す5つの基本目標】

- 八雲の自然と調和する安心・安全な都市基盤整備
- 八雲の豊かな資源を活用した産業振興
- 誰もがいきいき暮らせる健康・医療・福祉の推進
- ふるさとを築く教育の充実と文化・スポーツの振興
- 八雲の自立を実現する協働と行財政運営

今後の本町の都市づくりにおいては、人口の減少や少子高齢化が進行することから、無秩序な市街地の拡大を抑制し、持続可能でコンパクトなまちづくりを進めながら、都市の防災性の向上と地球環境時代に対応した脱炭素^{*}型都市構造への転換を目指すことが重要となっている。

これらを踏まえ、多くの人々が集い、住まい、憩う市街地の“都市づくりの理念”を次のように定める。

1 道南北部の中心としての『にぎわい』が生まれる都市づくり

道南北部の中心として、人が憩い、集うことにより、人と人とのふれあいを感じ、都市としての『にぎわい』を感じる都市づくりを目指す。

2 世代のニーズ※に応じた『安心』して暮らせる都市づくり

子どもから高齢者まで、すべての町民が、心安らかに過ごせる『安心』して暮らせる都市づくりを目指す。

3 災害や障壁を克服した『安全』な都市づくり

道路、公園、下水道といった都市基盤をはじめとする各種施設の整備により、万が一の状況においても、いつも通りの生活を送れる『安全』に暮らせる都市づくりを目指す。

4 住んでいて良かったと感じる『快適』な都市づくり

北海道の気候風土や地域特性を最大限に活かした、次の世代に引き継ぐべき北海道にふさわしい脱炭素・持続可能で質の高い暮らしの場を構築し、豊かな自然環境の中で、八雲町に住んでいて良かったと思える『快適』な都市づくりを目指す。

2-2 将来都市像

都市計画マスタープランの策定に基づく、各種事業等の展開により実現される「町の将来都市像」については、都市づくりの目指すべき方向を示すものとして、町民が感じる八雲町の魅力を具体的に表す言葉を活かしつつ、自然とのふれあいが素晴らしい町、駅や公園等での人と人とのふれあいが生まれる快適な町をイメージできる言葉として、以下のように設定する。

【町民が感じる八雲町の魅力】

- ①海、山、川の豊かな自然環境と食の恵みに抱かれた町
- ②買い物や医療など生活利便性が高い、暮らしやすく、子育てのしやすい町
- ③尾張徳川家による古くからの開拓の歴史等、文化の香り漂う町

【将来都市像】

自然と人を未来へつなげる「ふれあい快適都市」

ふれあい快適都市・やくも

【理念】

- ・道南北部の中心としての『にぎわい』が生まれる都市づくり
- ・世代のニーズに応じた『安心』して暮らせる都市づくり
- ・災害や障壁を克服した『安全』な都市づくり
- ・住んでいて良かったと感じる『快適』な都市づくり

【八雲町市街地の特性】

- ・海、山、川の豊かな自然環境と食の恵みに抱かれた都市
- ・買い物や医療など生活利便性が高い、暮らしやすく、子育てのしやすい都市
- ・古くからの開拓の歴史や、八雲神社、木彫り熊発祥の地等、文化の香り漂う都市

【将来像】（第2期八雲町総合計画における将来像）

八雲発！自然と人を未来へつなぐ